

## 令和3年度 自治基本条例見直しに関する主な意見

- 第1回検討委員会や市民アンケートにおいて、条例見直しに関する意見を以下のとおり整理したもの。

**【第1回自治基本条例見直し検討委員会における主な意見】**

1. 自治基本条例自体の周知に限らず趣旨を浸透させることが大事。
2. 地域における人づくり、リーダーづくりの重要性について。
3. 子供、若者、次世代を担う人たちの市民参画の場への参加について。
4. 自治基本条例の趣旨を担う地域団体の役員の担い手不足や若い世代で構成されている団体の弱体化が心配。
5. 市民参画を進めるため、オンライン会議など多様な開催方法を検討することが必要。
6. 「地域コミュニティ」の定義を多様化した現在に合わせて見直す必要があるのではないか。
7. オンラインで会議ができる時代であり、取り巻く背景を踏まえた条例の見直しを考えていく必要がある。

**【自治基本条例アンケート自由記述における市民参画についての主な意見】**

8. もっとアンケート等を通して市民の意見を身近に聞いて欲しい。市政と市民の考え方は違う。その時々で伝えたい事も変わってくる。頻繁に市民の意見を聞いて欲しい。
9. 市民参画の方法として、出向かなくても参加できる方法があると良い。どこからでも参加可能であれば、若い人の参加率も高まると思う。
10. 仕事、闘病、介護、学業、育児など、なかなか他のことにゆとりが持てない人、転勤族など永住はしないが市民として暮らしている人にも、等しく、情報共有(特に災害対応などの周知徹底)や敷居の高くない活動参加ができるシステムや雰囲気があると思う。
11. 市民参画、協働に日田市として積極的に取り組んでいるという体裁をとるための条例であれば、今のままで全く問題はないと思う。取り組んで欲しいことは、現実的に市民参画、協働を推し進めていくための具体的な施策と施策に沿った事業の実行。